



一学校・保護者・地域とともに子どもたちの未来を創造する一

教育委員会だより

「住むんだったら」「学ぶんだったら」「教えるんだったら」つがる市がいい！

第 8 号

令和5年12月

つがる市教育委員会



こどもたちのために智謀湧くが如し

つがる市教育委員会 教育長 山谷 光 寛

令和5年も気づけば12月。3月末に拝命いただいてからは、怒涛の9か月間でした。

各校のこどもたち、保護者の皆さん、地域住民の皆さん、教職員の皆さんにとっても同様にあっという間に時間が過ぎ去ったのではないかと拝察いたします。

この間、つがる市内各校のこどもたちの前向きな努力と保護者・地域住民・教職員の皆さんの献身的な努力により各校の学校運営が停滞することなく着実に進められ、こどもたちが多くのことを学び経験できてきましたことに、心より感謝いたします。ありがとうございました。

教育委員会といたしましては、つがる市の宝であるこどもたちの学校生活が充実したものとなるように、これからも各校の教育活動を支援してまいりたいと考えております。

迎えます新年も各校がこどもたちにとって安全でまた安心して学校生活を送れる場所であり、日々成長を実感できる場所となるように、保護者、地域住民、教職員そして教育委員会が力を合わせて、望ましい環境を整えていけるように努めてまいりましょう。どうぞよろしくお願いいたします。

皆さんご承知のことと存じますが、今年4月、『こどもまんなか社会』の実現をめざして「こども家庭庁」という行政機関が発足しました。この行政機関はそのモットーを、『こどもまんなか社会を実現するために、こどもの視点に立って意見を聴き、こどもにとっていちばんの利益を考え、こどもと家庭の、福祉や健康の向上を支援し、こどもの権利を守るためのこども政策に強力なリーダーシップを持って取り組みます。』としています。

国の調査によれば、我が国で2021年度に18歳未満のこどもがいる世帯は1,073万7千世帯(全世帯の20.7%)であり、1989年(平成元年)の約2分の1に減少しており、急速に少子化が進んでいることがわかります。このような中で課題と感じられるのは、我が国の宝であるこどもたちが、社会の中心に据えられ大切にされているかと問われると、こどもの貧困をはじめ素直に頷けない事案が全国的に散見されていることです。

教育委員会といたしましては、今後もつがる市の宝であるこどもたちを社会の中心に据えて、こどもたちをまんなかにして、成長につながる施策を検討し実施してまいります。

繰り返しとなりますが、これまでと同様に、ご理解・ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

皆様、良いお年をお迎えください。

つがる市部活動地域移行に関するアンケート調査結果概要

中学校部活動の円滑な地域移行をめざし、現状の部活動の実態や関係者の意向について適切に把握し、今後の施策の基礎資料とする目的で、令和5年10月に調査を実施いたしました。

調査回答状況 ○小・中学生 回答数 448人（対象者 小5～中1児童生徒）
 ○保護者 回答数 356人（対象者 小5～中3保護者）

【小・中学生アンケート結果】

1 学校部活動や地域クラブに、どんな理由で加入しましたか。（加入者のみ回答）

A：そう思う B：やや思う C：あまり思わない D：思わない

	A	B	C	D	数値は割合%
① 学校生活を楽しく豊かにしたいから	72	123	68	74	
② スポーツや音楽などを楽しみたいから	195	84	26	33	
③ ルールや技術などの基本を身につけたいから	177	95	36	25	
④ 体力や楽器演奏などの技術を向上を目指したいから	185	79	40	32	
⑤ 厳しい練習に耐え、忍耐力など強い精神力を身につけたいから	134	102	57	42	
⑥ 試合やコンクール等で勝つ喜びを味わいたいから	192	64	43	38	
⑦ スポーツマンシップや団体行動を身につけたいから	131	105	52	47	
⑧ クラスや学年を越えた友人をつくりたいから	118	85	74	58	
⑨ 高校や大学の進学に役立てたいから	116	90	72	58	

※ 理由はそれぞれであるが、「楽しみたい」「技術の向上」「勝つ喜びを味わいたい」が多い。

2 学校部活動の問題点は何だと思いませんか。（中学生のみ回答）

A：そう思う B：やや思う C：あまり思わない D：思わない

	A	B	C	D	数値は割合%
① 部活動の時間や日数が長すぎる	6	20	39	89	
② 部活動の指導が厳しい	2	8	56	86	
③ 専門的な実技指導が受けられない	11	15	41	87	
④ 顧問の先生との相性が合わない	7	22	37	88	
⑤ レギュラーになれない	4	11	29	110	
⑥ ケガなどで活動ができない	5	7	24	120	
⑦ 他の部員との関係が悪い	3	6	35	109	
⑧ 肉体的・精神的に疲労がたまる	16	31	34	72	
⑨ 学業との両立が難しい	29	39	27	58	
⑩ 家族の期待が大きい	15	26	41	70	
⑪ 家族の理解がない	2	8	34	108	
⑫ やりたい活動がない	14	8	24	108	

※ 学校部活動について、問題があるとは思っていない。

自由記述意見：「帰りが遅く家族との時間が減る。」「あまり強くなれない。」
 「部活動終了後バスまでの時間が長すぎる(約30分)。」

3 中学校の部活動を地域クラブへ移行した時の指導者についてどう思いますか。（全員回答）

① 地域の指導者でも構わない	112人	25.0%
② 学校での様子も分かってくれる先生による指導がよい	105人	23.4%
③ どちらでもよい	231人	51.6%

※ 約半数がどちらでもよいと答えており、学校の先生を希望する児童生徒が2割以上いる。

【保護者アンケート結果】

1 学校部活動や地域クラブに加入させている、もしくは、加入させるとしたら、どんな理由ですか。

A：そう思う B：やや思う C：あまり思わない D：思わない

- ① 学校生活を楽しく豊かにさせたいから
- ② スポーツや音楽などを楽しませたいから
- ③ ルールや技術などの基本を身につけさせたいから
- ④ 体力や楽器演奏などの技術を向上させたいから
- ⑤ 厳しい練習に耐え、忍耐力など強い精神力を身につけさせたいから
- ⑥ 大会・コンクール等で良い成績を収めさせたいから
- ⑦ チームワーク・協調性・共感を味わわせたいから
- ⑧ クラスや学年を越えた友人づくりをさせたいから
- ⑨ 高校や大学の進学に役立てたいから

A	B	C	D	数値は割合%
193	127	23	13	
220	113	11	12	
201	113	32	10	
203	117	28	8	
162	112	64	18	
76	125	112	33	
248	90	9	9	
192	112	34	18	
93	115	114	34	

※ ほぼすべての項目について、「ややそう思う」「そう思う」と肯定的な回答が多い。

2 学校部活動の問題点は何だと思いますか。

A：そう思う B：やや思う C：あまり思わない D：思わない

- ① 部活動の時間や日数が長すぎる
- ② 部活動の指導が厳しい
- ③ 専門的な実技指導が受けられない
- ④ 顧問の先生との相性が合わない
- ⑤ レギュラーになれない
- ⑥ ケガなどで活動ができない
- ⑦ 他の部員との関係が悪い
- ⑧ 肉体的・精神的に疲労がたまる
- ⑨ 学業との両立が難しい
- ⑩ 家族の期待が大きい
- ⑪ 家族の理解がない
- ⑫ やりたい活動がない

A	B	C	D	数値は割合%
20	54	154	128	
7	29	172	148	
70	107	127	52	
23	52	156	125	
7	26	156	167	
0	15	152	189	
15	40	152	149	
21	70	139	126	
19	99	129	109	
6	30	168	152	
6	26	130	194	
73	95	67	121	

※ 問題点を感じている保護者は少ない。否定的意見が多いものとして、「専門的な指導が受けられない」「やりたい活動がない」「学業との両立が難しい」が挙げられる。

3 学校の部活動を地域へ移行することで、どんな不安がありますか。

A：そう思う B：やや思う C：あまり思わない D：思わない

- ① 円滑な活動運営ができるのか
- ② 費用負担が増えるのでは
- ③ 休日に指導できる指導者を確保することができるのか
- ④ けがや事故の未然防止や救急措置等は大丈夫か
- ⑤ 送迎等で、身体的・時間的負担が増えるのが心配
- ⑥ 指導の質が落ちるのでは

A	B	C	D	数値は割合%
117	146	63	30	
127	136	60	33	
153	131	52	20	
78	142	96	40	
154	112	54	36	
35	58	176	87	

※ 項目①～⑤について不安を感じているが、「指導の質が落ちる」とは考えていない。

4 学校の部活動を地域クラブへ移行していくことについてどう思いますか。

- ① 賛成である 69人 19.4%
- ② どちらかといえば賛成である 107人 30.1%
- ③ どちらかといえば反対である 76人 21.3%
- ④ 反対である 26人 7.3%
- ⑤ 分らない 78人 21.9%

※ 約半数が賛成であり、約3割が反対の意見である。

各課の取組紹介(4月～11月)

教 育 総 務 課

市内全中学校の音楽室にエアコンを設置

小・中学校特別教室へのエアコン設置は兼ねてからの要望事項であり、今年度は使用頻度の高い中学校(5校)の音楽室に設置しました。今後も特別教室へのエアコン設置を計画的に進めてまいります。

令和5年度から学校給食費の見直しを実施しましたが、原油価格・物価高騰が続いていることから、引き上げ分(20円)と物価高騰対策分(20円)については市が補助し、保護者負担額を前年度同様に変えていないことを改めてお知らせ致します。

学校給食に7月から毎月1回「農家の刺客ジェラート」を提供しました。

指 導 課

Enjoy! English Day at つがる地球村 2023

7月28日、小・中学生合わせて22名が参加し、オールイングリッシュによる様々な活動に取り組みました。はじめは自信なさそうに英語を話していた子供たちでしたが、分からない英語表現は外国語指導助手が優しく教えてくれたため、活動が進むにつれ、自分の思いを英語で伝えようとする一生懸命な姿が見られました。英語でのコミュニケーションへの自信や関心・意欲を高めました。



つがる市の新キャラクターのアイデアをもとにTシャツ制作

社会教育スポーツ課

伊藤鉦業アリーナつがるこけら落とし事業開催



第1弾:(10/4、10/5)Bリーグ青森ワッツ公式戦 3,224 人

第2弾:(10/14、10/15)つがるスポーツフェスティバル 1,600 人

第3弾:(11/4、11/5)Vリーグ東レアローズ公式戦 1,775 人

市内外から多くの来場者にお越しいただき、スポーツの魅力の発信やスポーツ活動の活性化に努めました。

文 化 財 課

カルコがリニューアルオープン

4月に縄文住居展示資料館カルコがリニューアルオープンしました。新たな展示コーナーやミュージアムショップを設け、縄文遺跡・文化の総合案内施設として市内外の多くの方にご利用いただきました。小・中学校の校外学習でも活用されています。

世界文化遺産の亀ヶ岡石器時代遺跡と田小屋野貝塚には約7,000名の方が訪れ、遺跡ボランティアガイドの案内などを通じて遺跡の価値や魅力を知っていただきました。

両遺跡の活用のため、NPO法人つがる縄文の会や木造高等学校と連携して「JOMON 亀ヶ岡遺跡・田小屋野貝塚まつり 2023」を9月に開催しました。今回は、民間団体のご協力によりクラフト・飲食ブースも設けられ、多くの参加者でにぎわいました。